





審査結果報告書

平成 29 年 8 月 22 日

| | | |
|---------|--------|---|
| 主 査 氏 名 | 福田 倫也 |  |
| 副 査 氏 名 | 増田 卓 |  |
| 副 査 氏 名 | 横場 正典 |  |
| 副 査 氏 名 | 神谷 健太郎 |  |

1. 申請者氏名 : DM13035 牧野 彰宏

2. 論文テーマ :

維持期心筋梗塞患者に対する左心室逆リモデリング達成に関する研究: 外来包括的心臓リハビリテーションの効果と逆リモデリングを達成するための目標値の検討

3. 論文審査結果 :

本研究は、維持期心筋梗塞患者に対する包括的心臓リハビリテーション（心リハ）が心機能に与える効果（研究 1）と逆リモデリングを達成するための因子（研究 2）について検討した。その結果、包括的心リハ参加群において、左心室駆出率が増加し、収縮および拡張末期容積は減少すること、逆リモデリングの達成割合は、包括的心リハ参加群において有意に高値であることを示した（研究 1）。研究 2 では、研究 1 の包括的心リハ参加群において、逆リモデリングの予測因子とそのカットオフ値が、等尺性膝伸展筋力体重比 51%と中強度身体活動 29 分であることを明らかとした。

先行研究から運動療法が逆リモデリングに有効であることが報告されているが、本研究の独創的な点は、維持期の包括的心リハが逆リモデリングに与える効果と、逆リモデリングを達成するための具体的な管理目標値を下肢筋力と身体活動量に着目していることであり、臨床上極めて重要である。

以上のことから、本研究者は博士（医学）の学位を授与するに相応しい人物と判断した。